

厚生労働省 令和5年度 こころの健康づくり対策事業
思春期精神保健対策医療従事者研修応用コース 実施要項

1. 目的

今年度以前の医療従事者研修をすでに受講した者、もしくは修了者と同等の知識、経験を有する専門家に対してケース検討を含んだ専門性の高いプログラムを提供し、臨床力を高めることを目指しています。

2. 参加要件

- ・申込時に職場の上司の推薦を得られること。
受講申込時に【同意書及び推薦書】に署名捺印し提出(郵送)していただきます。ご自身が職場長の場合、推薦書の欄への記入は不要です。
- ・研修受講者名簿(氏名、所属先、所属連絡先)の作成・配布に同意できること。
名簿は厚生労働省へ報告し、各地でご活躍いただけるように各都道府県、政令指定都市、中核都市、保健所設置都市、特別区の関係機関に送付します。

3. 対象者

医療従事者専門研修を修了した者もしくは修了者と同等の知識・経験を有する精神科医、小児科医、コメディカルなど

- 事例検討会がありますので、守秘義務の遵守が出来る方に限ります。
- 応募多数の場合はケース検討での症例提示の可能な方を優先します。

4 日時・場所・定員

一日目 令和6年1月25日(木) 9:30~15:30 (～1/27(土)まで) オンライン形式
二日目 令和6年2月7日(水) 10:00~15:10 対面形式
二日目の場所：国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター研修室
千葉県市川市国府台1-7-1

定員：30名

【申し込みフォーム】

5. 受講料 無料

6. 研修内容 プログラム参照

7. 申込締め切り 令和5年12月15日(金)まで

基本先着順です。定員に達しましたらこれ以前に締め切る場合もあります。

8. 申し込み方法 申し込みフォーム(右記QRコード)から参加登録し、

「同意書・推薦書」を郵送して下さい。「同意書・推薦書」の到着後、受講の可否、参加詳細はメールでご連絡いたします。(事務局からのメール kcap36kenshu@hospk.ncgm.go.jp の受信設定をしてお待ちください。)



9. その他

- ・1日目オンライン形式(millviを利用)は受信機器のご用意をお願いします。
- ・所属施設でこれらの接続が難しい場合は自宅勤務等での受講を推奨いたします。
- ・2日目昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でご準備をお願い致します。
- ・2日間欠席なく受講された方には修了証書を授与します。受講確認が取れない場合は修了証書の授与ができませんのでご注意ください。

思春期精神保健研修事業『医療従事者研修応用・症例コース』

第1日目 R6/1/25 (9:30~15:30) オンライン				
1時限	9:30~ 10:30	八木 淳子	岩手医科大学附属病院 児童精神科 いわてこどもケアセンター	逆境体験がこどもの発達に 及ぼす影響と回復への支援
2時限	10:30~ 11:30	中村 伸一	中村心理療法研究室	家族療法の理論と実際
3時限	11:30~ 12:30	生地 新	まめの木クリニック	児童福祉施設における 力動精神医学臨床
	12:30~ 13:30	昼休み		
4時限	13:30~ 14:30	岩垂 喜貴	駒木野病院	入院治療について
5時限	14:30~ 15:30	吉村 裕太	福岡大学病院	子どもの集団療法について

第2日目 R6/2/7 (10:00~15:10) 肝炎・免疫研究センター研修室				
	10:00~ 10:10	主催者挨拶		
1時限	10:10~ 12:10	齊藤 万比古 宇佐美 政英	母子愛育会愛育相談所 国立国際医療研究センター 国府台病院	ケース検討①(グループ討議)
	12:10~ 13:00	昼休み		
2時限	13:00~ 15:00	齊藤 万比古 宇佐美 政英	母子愛育会愛育相談所 国立国際医療研究センター 国府台病院	ケース検討②(グループ討議)
	15:00~ 15:10	修了式		

1日目の講義は各60分。2日目は架空症例検討を通じ、多角的な視点で子どもを評価し、治療戦略を立ててディスカッションを行う。

思春期精神保健対策医療従事者研修応用コース
研修名簿作成・配布同意書及び受講推薦書

令和 年 月 日

受講するにあたり名簿作成・配布に同意します。

受講者氏名 _____ 印

受 講 推 薦 書

上記の者を貴院の厚生労働省 令和5年度こころの健康づくり対策事業「思春期精神保健対策医療従事者研修応用コース」受講生として推薦いたします。また研修会で症例を発表する際には、当施設での個人情報保護の規定に沿って行うことを約束します。

令和 年 月 日

施設名 _____

所在地 _____

代表者(所属長)氏名 _____ 印

国立研究開発法人
国立国際医療研究センター国府台病院長 殿